



Chitose Rotary Club

今村会長テーマ
“人・地域に思いやる心”

会長 今村 静男 副会長 藤本 敏廣 幹事 酒井 宏
会長エレクト 村田 研一 会計 沼田 常好
第2510地区ガバナー 熊澤 隆樹 第7グループ・ガバナー補佐 大坂 直人

～ 2月は世界理解月間 ～

本日の例会 (2月9日 第32回) 通常例会 担当：国際奉仕、新世代・RA委員会
～ANAクラウンプラザホテル千歳～

2011年～2012年度
第31回 (通算2203回) 例会報告

日時：2012年2月2日 12:30～13:30
場所：ANAクラウンプラザホテル千歳
プログラム：通常例会
担当：国際奉仕、新世代・RA委員会
司会：SAA・プログラム委員長 下山 徹哉

黙祷～故 ポールハリス (1947年1月27日ご逝去)

四つのテスト



クラブ会報・広報・IC副委員長
田中 敬二

会長挨拶

会長 今村 静男



昨日 (2月1日)、第7グループの「会長幹事会」が由仁町において開催され、次年度第7グループガバナー補佐の佐々木昭PC、私と酒井幹事の3名が出席して参りました。その中で各クラブの半年間の活動結果報告がありました。

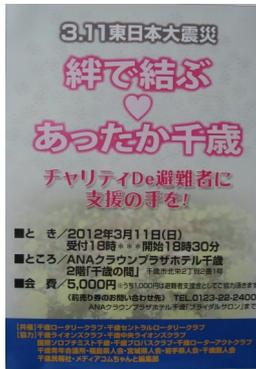
千歳クラブからは、会員増強活動と毎月11日に行っています「3・11私達は忘れない東日本大震災」街頭活動について報告しました。各クラブ5分間の持ち時間での発表ですから、具体的な内容まではお話できませんでしたが、会員増強活動については、病気入院であった会員2名の急逝があった中で全会員参加による特別グループ編成による活動を行い、4名の新会員確保事例を報告しました。他のクラブも会員増強はたい

へん厳しいものがあるものの、危機感をもって活動をしているとの報告がありました。

大坂ガバナー補佐からは、地区から「3・11東日本大震災」被災地への積極的な支援要請をお願いしたい旨の伝達がありました。このことに関連して本年3月11日、千歳市内2つのロータリークラブが、東日本大震災により千歳市に避難しています家族への支援を目的に「3・11東日本大震災『絆で結ぶ♥あったか千歳』」と銘を打ってチャリティイベントを行うことを報告しました。千歳市内の2つのロータリークラブが共催する行事は初めてです。

3月11日のチャリティイベントにつきましては、会員皆さんには事あるごとをお願いをしていますが、東日本大震災の被災地に支援するのではなく、福島・宮城・岩手三県で被災を受けて、千歳市内に避難して来ましたご家族への支援が目的であり、千歳市内の奉仕活動団体のご協力を頂いて行うこととお話致しました。

チケット、ポスター類は出来上がっており、千歳クラブとしてはチケット250枚を販売する割り当てとなっています。会員皆様のご協力をお願い致します。



幹事報告

幹事 酒井 宏

幹事報告の前に、最近、特に風邪が流行っており、今日も会員から「風邪で例会を欠席する」との連絡を頂いております。“風邪は万病のもと”と言われております。マスクの使用や外出から帰宅した際には、うがい、手洗いの励行をお勧めします。

(1) 岩崎暉久PCは1月5日から千歳豊友会病院に入院しておりますので、お見舞いに行つて参りました。術



後3週間が過ぎ、お元気にリハビリに励んでおりました。医師から「禁煙」を厳命され、辛いが止めたとのことです。岩崎PCは「早く治して例会に出て、皆さんとお話をしたい」と話しておりました。

(2) 本年度のIM（インターシティーミーティング）は、由仁RCが担当で3月18日（日）由仁町文化交流館「ふれーる」において行われます。登録料は6,000円（半額クラブ負担）。由仁RCは9名の会員で準備を進めるとのことです。多くの会員皆さんの登録をお願いします。

○福田武男PC、次年度地区職業奉仕委員会委員に推挙

予てから千歳RC会員の中から地区委員への派遣を望んできたところ、今回、地区職業奉仕委員会 副委員長 田澤泰明氏（札幌幌南RC）から佐藤秀雄PGに要請がありました。佐藤秀雄PGは、適格者の推薦に前向きに考え、当クラブ次年度職業奉仕委員会委員長の福田武男PCを推薦すべく、本人の意思確認を行った結果、快諾を頂きました。



2月2日、第16回理事会（臨時）を行い、全理事より了承を得て推挙することとなりました。福田武男PCには、千歳RCの代表として地区において大いに実力を発揮して頂くようご期待申し上げます。当クラブからの地区委員は、佐藤秀雄PGと2名となります。（S）

お客様紹介（オブザーバー参加）

紹介者 社会奉仕委員副委員長 今野 良紀

オブザーバーのお客様、吉田さんをお連れしました。英語が非常に堪能な弱冠31歳の若者です。水曜の朝5時から開催の“経営者モーニングセミナー”で専任幹事を務めていて、学ぶことに前向きな若者です。今後、ぜひロータリーの仲間に加わって欲しい人物です。



（株）H・K・S 代表取締役 吉田 真也 様



皆様、はじめまして。昨年の秋から（株）H・K・Sの代表を務めております。本日は、心・技・仁義を尽くしている今野支社長からのお誘いだったので、速攻で参加させていただきました。今日は一つでも多くの事を学び取れるようオブザーバーとして参加させていただいておりますので、よろしくお願い致します。

丹治秀一（PC）89歳のお誕生日おめでとうございます！

○会員の皆が『丹治さんのようにいつまでも元気でロータリーを続けることができるように』との願いを込めてバースデイケーキをお贈りしました

分収造林組合長 丹治 秀一

皆さん、ありがとうございます。一番嬉しいことは、長年ロータリーの会員として今日まで続けてこれたことです。そして、皆さんからこのようにプレゼントまで頂き、夢のようです。このクラブが私以上の長きにわたり存続し、隆盛となることをご祈念申し上げます。



89歳の誕生日おめでとうございます！

次年度各委員長の発表

会長エレクト 村田 研一

◎2012～2013年度の千歳ロータリークラブ各委員長の発表

- 出席・資料管理委員長 加藤正浩会員
- ロータリー情報・定款細則委員長 佐々木金治郎 パスト会長
- 健康委員長 長澤邦雄 パスト会長
- 親睦活動委員長 高橋都 会員
- 木曜・パークゴルフ会長 今村静男 会員
- 会員増強委員長 村上倫行 会員
- クラブ会報・広報・雑誌・IC委員長 田中敬二 会員
- 環境保全委員長 平間和弘 会員
- 千歳分収造林組合長 丹治秀一 パスト会長
- 新世代・ローターアクト委員長 菅原 正行 会員
- ロータリー財団・米山記念奨学委員長 榊原 潤 会員



ロータリー情報

国際奉仕委員長 五十嵐 宏



○「世界理解月間について」

ロータリー特別推進月間では、2月は「世界理解月間」です。例会冒頭でポール・ハリスの遺徳を偲び「黙祷」を捧げましたが、1947年1月27日にロータリーの創始者・ポーリー・ハリスが78歳でご逝去されており、この日がポール・ハリスの命日です。

毎年この1月27日を含む1週間を、物故ロータリアンの冥福を祈り、生前の貢献を祈念する週間とし「追悼記念週間」となりました。本日は、「追悼記念週間」の最終日ですので、皆様とともに黙祷を捧げたところで

す。皆様もご承知の通り1905年2月23日は、ポール・ハリスら4名がシカゴで初めて会合を開いた日です。この日を「ロータリー創立記念日」とされ、2月は「世界理解月間」と指定されたものです。正面、右側に大型ポスターを掲示していますが、この月間は、ロータリークラブは「世界平和に不可欠なものとして理解」

と「善意」を強調することをクラブプログラムとして行うよう要請されています。

当クラブとしては、大規模自然災害時における人道的支援を行っています。小さなことではありませんが、年賀状の当選番号も発表となりましたので、会員皆様のご家庭や会社等における「書き損じはがき」をお持ち頂き、恵まれない国や地域の子どもの学用品支援に努めたいと考えています。小さなことではありますが、今月一杯を「書き損じはがき収集月間」として皆様のご協力をお願い致します。

2月23日は創立記念日で当クラブでは例会日です。佐藤秀雄パストガバナーの卓話が予定されており、「国際理解と友情と平和のためにロータリアンとして行動」などについてお話があるものと思っています。

併せて、2月23日からの1週間は、「世界理解と平和週間」でロータリーの奉仕活動を強調する期間でもあります。会員皆様のご理解とご支援、ご協力をお願い致します。

会員卓話

クラブ会報・広報・雑誌・IC委員会
加藤 正浩 会員

○東日本大震災以降の北海道電力の取り組みについて

1. 泊発電所の安全対策について



泊発電所では、福島第一原子力発電所における事故を踏まえ、地震・津波に対する安全対策に万全を期してまいります。

泊発電所には、外部からの電力供給が途絶え、非常用発電機や海水ポンプが機能を失った場合でも炉心を冷却することができる「タービン動補助給水ポンプ」を備えています。さらに、安全対策として、①津波が到着したり交流電源が喪失した場合でも、炉心や使用済み燃料の損傷を防止する目的とした緊急安全対策を実施しました。②さらなる安全性・信頼性の向上のため、防潮堤の設置や中長期的な安全対策を講じていきます。③ストレステスト1次評価、地震・津波に対する安全性評価にも取り組んでいます。

泊発電所は、当初より、津波により非常用発電機や海水ポンプが機能喪失した場合でも、加圧水型軽水炉（PWR）の特徴である、蒸気で駆動する「タービン動補助給水ポンプ」により2次系からの炉心冷却が可能です。使用済燃料ピットについても、山側にある海拔31mの道路から消火用水や水槽付消防車で直接冷却水を補給することにより、冷却が可能です。

当社は、津波が到達したり交流電源を喪失した場合でも、炉心や使用済燃料の損傷を防止することを目的とした①電源確保②浸水対策③蒸気発生器水源確保④使用済燃料ピット水源確保の緊急安全対策を実施しました。

中長期的対策として、防潮堤の設置などのさらなる信頼性向上対策を実施し、津波対策に万全を期してまいります。

原子力安全・保安院に報告した泊発電所1・2号機のストレステスト1次評価結果の概要は次のとおりです。①福島で観測された揺れ（550ガル）よりも大きい揺れ（1,023ガル相当）に耐えられることを確認しました。②福島と同程度の高さの津波（津波遡上高さ14～15m）が襲来しても耐えられることを確認しました。③福島と同じ事象が発生したとしても、最低でも20日間に渡り、外部からの支援無しに原子炉等の損傷を防止できることを確認しました。

2. 北海道における電力需給状況について

今冬の供給予備力については、発電設備の定期検査・補修時期の見直しや、自家発からの電力購入、需給調整契約の拡大を進めた結果、想定される最大電力に対して70万kW程度以上の供給予備力を確保できる見通しとなり、電力需給に大きな支障が生じる状況にはない見込みです。

しかし、稼働中の発電設備の計画外停止が発生した場合には、厳しい需給状況となることも想定され、必ずしも万全の状態ではありません。

泊1・2号機が今後も再稼働されないと仮定した場合、来春から予定されている泊発電所3号機の定期検査以降、非常に厳しい需給状況となり、来夏には最大需要電力に対して供給力が不足する深刻な事態が想定されています。さらなる供給力の確保策には限界もあり、安全の確保を大前提とした泊1・2号機の早期発電再開が重要と考えています。

3. 北海道における最適なエネルギー供給に向けた取り組みについて

当社は、段階的に風力発電の導入を拡大しており、現時点で系統規模に対する割合は全国で最大となっています。また、導入量の拡大に向け、北本連系設備を活用した東北・東京電力との共同実証試験を進め、さらに20万kWの追加連系の募集を行っています。

太陽光発電からの電力購入は、2011年3月末で約4.3万kWに達しており、メガソーラーのさらなる導入拡大に向けた検討も進めています。

風力発電と太陽光発電の出力は、気象条件によって大きく変動するため、電力品質（周波数、電圧）への影響が懸念されます。風力発電や太陽光発電の系統連系に際しては、送電線や変電所の変圧器を流れる電力潮流が設備容量を超えないようにすることが必要です。

風力・太陽光発電の導入が拡大すると、その出力変動にも対応して火力発電所などの調整を行うことが必要になります。出力調整が追いつかなくなるほど風力・太陽光発電の導入が拡大すると、周波数の維持が困難となり、お客さまへ悪影響が生じるおそれがあります。

風力・太陽光発電の導入構想は、北海道の系統規模に対して極めて大きなものですが、電力の安定供給に支障を来さないために、十分な影響評価を行うことが必要です。大量の風力・太陽光発電の導入にあたっては、大規模かつ長期間の工事が必要となるとともに、設備対策費用の問題が生じると考えられます。

当社のその他の取り組みを説明します。①省エネルギーに向けた取り組み方法（ご家庭向け・事業者さま向け）を当社ホームページや広報紙で紹介しています。従来のヒーター系電化に比べ、省エネルギー、CO2排出量の低減に大きく貢献するヒートポンプ機器

を推進しています。②当社初のLNG火力発電所となる石狩湾新港発電所の建設計画を進め、燃料種の多様化を図ります。また、当社初の純揚水発電所となる京極発電所の建設も進めています。③北海道と本州の電力系統を連系する北本連系設備の増強（60万kW→90万kW）の早期実現に向けた検討を進めているところで、道内の電源脱落リスクへのより確実な対応や、再生可能エネルギーの導入拡大に寄与できるものと考えています。

電力の安定供給の確保や地球温暖化防止のためには、これらの取り組みをバランス良く組み合わせることが重要と考えています。

以上で説明を終わりますが、ご質問やご意見がありましたら、私までよろしくお願いたします。本日はどうもありがとうございました。

（詳細はホームページを参照ください）

第7グループ 第2回会長幹事会の開催

○「第7グループ第2回会長幹事会」を由仁で開催

2月1日（水）18時より由仁町健康元気づくり館において、第7グループ大坂直人ガバナー補佐をはじめ、次年度ガバナー補佐 佐々木昭（千歳RC）とグループ内の6クラブ会長・幹事など15名が出席して行われました。

冒頭、大坂ガバナー補佐から、(1) 地区における東日本大震災支援事業と今後の取り組み、クラブへの協力要請。(2) 由仁RCが主催する「インターシティミーティング」を3月18日、由仁町文化交流館において開催。テーマを「長期計画と未来の夢計画」として、RIの長期計画（戦略計画）と財団の未来の夢計画について基礎を学習するとのことです。登録料は6,000円。本間実行委員長から、「由仁RCは9名の会員で準備を進めています。多くの会員の登録をお願いします」と挨拶および協力要請がありました。

次いで、各クラブから地区への要望について千歳RCからは、地区大会での「永年出席100%会員表彰」の見直しなど、4点について酒井幹事が発表しました。

最後、各クラブの上半期における活動状況については、今村会長から「会員増強により4名の新会員獲得」などについて発表がありました。各クラブとも熱のこもった活動報告がされ、予定時間をオーバーするほどでした。（S）

3・11東日本大震災『絆で結ぶ♥あったか千歳』第5回実行委員会の開催

2月3日、ANAクラウンプラザホテル千歳・多目的ルームにおいて、

「3・11東日本大震災『絆で結ぶ♥あったか千歳』」第5回実行委員会を開催しました。今村千歳RC会長、羽生千歳セントラルRC会長など実行委員4名、オブザーバー



として大澤雅松千歳民報社代表の7名の出席を頂き、開催しました。

3月11日の本番に向けて諸準備を進めていますが、チャリティイベントのチケット600枚の販売と生活情報誌「ちゃんと」の広告主の確保が最大の課題であり、二つのロータリークラブ会員の協力を重ねてお願いすることで意見が一致しました。（S）

出席率

今回：58.2%（2月2日＝32/55、実数）

確定：63.6%（1月19日＝35/55、うちメーキャップ0名）

ニコニコBOX

丹治 秀一 会員

89歳の誕生日、皆様に祝っていただき、ありがとうございました。

今野 良紀 会員

1年ぶりの例会出席です。今年はできる限り出席いたします。

沼田 常好 会員

①2月1日で千歳ニッソウサービス（株）の代表取締役になって30年になりました。

②女優の島田陽子さんが来社して、ギョウザを食べていきました。

五十嵐 宏 会員

1月30日、千歳市暴力追放運動推進協議会の40周年記念式典が無事終わりました。

武石 忠俊 会員

ゴルフ旅行が無事終了しました。

長澤 邦雄 会員

路面が出ており、スピード違反でキップを頂きました。皆様もお気をつけて！

藤本 敏廣 副会長・酒井 宏 幹事

またまた、民報に写真が載りました。よく写っていました。

加藤 正浩 会員

本日は会員卓話の機会をいただき、ありがとうございます。

次年度委員長就任予定の皆様さん（8名）

本日のニコニコ集計 17名 合計 31,000円

スケジュール

2/16（木） 夜間移動例会（西洋軒）
（担当：親睦活動、出席・資料管理委員会）

2/23（木） 通常例会（ロータリー創立記念日）
会員増強委員による活動実態報告
会員卓話（佐藤秀雄PG）
（担当：会員増強委員会）

理事会
千歳RAC主催「親睦ボウリング大会」フジボウル

3/1（木） 通常例会
会員卓話（中山和朗会員「千歳だんご3兄弟物語」）

（担当：職業奉仕委員会）